



市川市立大洲小学校  
学校だより  
5月号

発行責任者 校長 田中 敏則

きずな

絆



よくまなび よくあそび  
～ 人生を拓く力の育成 ～

まなび いっぱい  
やさしさ いっぱい  
げんき いっぱい

## 本当の強い人は、……

新年度がスタートして1カ月が経ちました。教室からは子どもたちの明るい笑い声が聞こえます。校庭では楽しそうに走り回る子どもたちの姿が見られます。新しい学年、クラスにすっかり馴染み、子どもたちは仲良く元気に学校生活を過ごしているようです。大きなトラブルやけんかもなく、大洲小には穏やかで和やかな空気が流れています。

しかし、今、世界では戦争が起こってます。

侵攻間もない3月上旬、新聞の読者投稿に目が留まりました。市川市在住の方の投稿でした。

「ウクライナでの惨禍に胸を痛めています。戦火が起こった日、星空を見上げて思いました。同じ空の下、ウクライナの人々は不安な思いをしているだろうな、日本より寒いだろうな、電気やガスは通っているのかな、食べ物の流通が止まらないといいな、戦っている人だって若い人が多いんだろうな、その目的が人を傷つけることだなんて、たまらないだろうなと。心配でなりません。人ごとではありません。

この事態を一刻も早く止めなければ、大勢のかけがえのない命が傷ついてしまいます。本来、人々を苦しめる争いを望んでいる人などいないはずです。（抜粋）」

2月24日の侵攻から2カ月以上が経ちました。連日、ニュースで放映されるあまりにも酷いその惨状に、耳をふさぎ目を覆いたくなります。街は破壊され、多くの人が住むところをなくしています。数えきれないほどの人が傷つき、尊い命が奪われてしまいました。事態はさらに悪化し、悲惨の度は増すばかりです。一日も早く戦争が終わることを心より祈るばかりです。



それでは、私たちは何をすべきなのでしょう。何ができるのでしょうか。いろいろとあるでしょうが、他人を大切にすることを育むことはその一つだと思います。いじめはいけない、暴力はいけない、もちろん言葉の暴力も…。そして、学校や地域の中で、子どもたちがお互いに友情と信頼の絆を一つ一つ結ぶことができるような教育活動も大切です。地味ではありますが、そうしたことの積み重ねが、平和な社会へと一歩一歩前進していくのだと思います。

「ウクライナで、ぼくより小さな女の子がじゅうでうたれて病院に運ばれているのをニュースで見てかなしくなった。以前ぼくは、悪口を言われたのがくやしくてカッとなって相手にけがをさせたことがあった。それを知ったお母さんは泣いていた。お母さんは『そんなの全ぜん強くない。弱い人間のすることだ。本当に強いのは、弱い人を助けられる人だ』と言っていた。たまに、学校でいやなことを言われることもある。だけど、お母さんが泣いているすがたや、あの時のことを思い出し、今はグッところえている。習い事のそろばんも、つかれてめんどくさいと思う時もある。でもぼくは、頭も心も強くなって、こまっている人を助けられる本当の強い人間になりたい。」（鹿児島県 9歳 小学生）

「本当の強い人は、弱い人や困っている人を助けられる人」。9歳の男の子に教えられました。

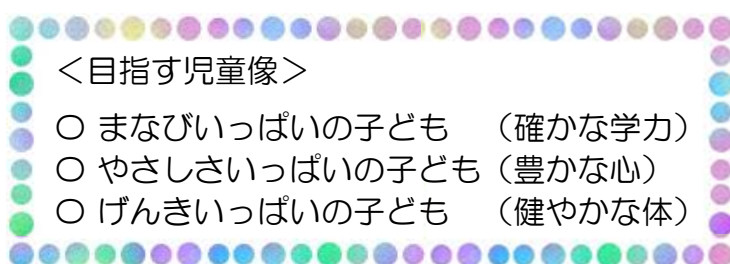
## 学校教育目標

# よくまなび よくあそび

## ～ 人生を拓く力の育成 ～

大洲小学校の学校教育目標は「よくまなび よくあそび」です。

「学ぶときは一生懸命学び、遊ぶときは思いっきり遊ぶ」ような、「まなび」と「あそび」を両立することでしょうか。「文武両道」と同じようなことかもしれません。もちろん、「まなび」と「あそび」の両方を頑張ることは、それはそれで大切ですが、私は別のとらえ方をしています。



### ＜目指す児童像＞

- まなびいっぱいの子ども （確かな学力）
- やさしさいっぱいの子ども （豊かな心）
- げんきいっぱいの子ども （健やかな体）

それは、「まなび」と「あそび」の学校生活にあって、そのどこかで、どんなことでもいいので、子どもたちに「頑張った、できた、私はすごい！」という成功体験を味わわせてあげたい。それが私の「よくまなび よくあそび」です。

算数の授業で輝く子もいれば、体育の授業で輝く子もいます。体育は苦手でも、歌の上手な子や楽器が上手な子もいます。絵画や工作が得意な子、字が上手な子もいます。行事でリーダーシップを発揮する子、掃除を頑張る子、みんなのために陰に徹して頑張る子もいます。ユーモアがあってクラスを明るくしてくれる子、あいさつをしっかりとできる子、優しくて思いやりのある子もいます。「まなび」「あそび」の何かしらで輝いてほしいと思います。

「私（僕）は頑張っている。私はすごい！」と、成功体験を積み重ねていくと、「自分に自信をもち、自分のことが好き」になります。「自尊感情（自己肯定感）」です。



この「自尊感情」が育まれると、物事をプラス思考でとらえることができ、どんなことにも積極的になります。また、周りの人の“よさ”を認めることができ、人に優しく接することができるようになります。すると、感謝の気持ちや周りの人への貢献意欲が高まります。

まさに、学校教育目標に掲げる「人生を拓く力の育成」がなされるのではないのでしょうか。

## スクールカウンセラー

今年度、月に1回、スクールカウンセラーの先生が来校します。スクールカウンセラーは、守秘義務のもと、児童へのカウンセリングの他、保護者へ子育て等について助言・援助等を行います。

相談内容は、心に関する悩み全般、不登校・登校しぶり、学習面の問題（書字が苦手・計算ができないなど）、生活面（片付けができない・忘れ物が多い・落ち着きがないなど）、対人面（友人トラブル・上手くかかわれないなど）、性格（過度に緊張する・乱暴など）、癖（こだわり・爪噛み・チック・抜毛など）など、子育てにかかわること全般です。

来校日は学年だよりでお知らせしますが、前期は、5月18日（水）、6月28日（火）、7月12日（火）、9月14日（水）を予定しています。

カウンセリングは、1回50分ほどですが、時程の調整をする必要がありますので、希望する方は、事前に担任または教頭へお知らせください。

